

イエスの死を告げ知らせる

ヨハネの2章にイエスは**神殿から商人を追い出す**。

ユダヤ人の過越祭が近づいたので、イエスはエルサレムへ上って行かれた。そして、神殿の境内で牛や羊や鳩を売っている者たちと、座って両替をしている者たちを御覧になった。イエスは縄で鞭を作り、羊や牛をすべて境内から追い出し、両替人の金をまき散らし、その台を倒し、鳩を売る者たちに言われた。「このような物はここから運び出せ。わたしの父の家を商売の家としてはならない。」

これは大きな事件だった。この事件を起こしたため権力者はやっとイエスを捕まえて処刑する事に決めたのではないかと言う学者がいる。イエスは神殿、教会の中で商売している所を見て憤ってすごく怒って、もう許せないと思って彼等を追い出してしまった。神様を愛する人には、社会を作り変えたいと思う人には、困っている人々を助けたいと思う人には、また、環境を守りたいと思う人には絶対許せない事がある。一生懸命に必要なだったら命を投げ打っても反対したい。あなたにはこういう許せない事があるか。

西洋と違って日本には共同体意識はまだ強いです。福島の子供は避難するかしないかを決める前に村の人々で話し合った事がある。皆で避難するか残るか。決めたら皆でその決断に従ったそうです。これは素晴らしいです。共同体意識。この意識を広めたいと思う。

しかし時には困っている人を助ける為に、地球を守る為に、神の国を実現する為に、周りの人々と違う事を行う必要がある。共同体意識の強い日本では違う事をやる為には勇気が沢山必要だ。**出る杭**になる可能性があるからだ。

第二次世界大戦の前とその間、日本の教会は国に協力した。協力しなかったらひどい弾圧にあっただろう。

今一人一人も職場などで勇気が足りない為、やりたく無い事、やってはいけないと思う事も黙ってやってしまう事もあると思う。北海道で北海道開発局に勤めている人と会った事がある。その人はアイヌの文化を破壊していると言っていた。私が債務帳消しキャンペーンに参加していた時、ある信者さんは協力したいと思っているが、協力したら、職場で主人に圧力が掛かって来るかもしれないので協力できないと言っていた。

戦争が終わってから 731 部隊のメンバーは、ロシアで裁判に掛けられた時、そこで裁判官は彼等に聞いた。「神道の信者さんですか。」「はい、そうです。」「ではどうしてこんなひどい事が出来たのか。」兵士が応えたのは「命令だった。」命令だった為、断わる勇気はなかった。

同じ戦争で、ドイツで結婚したばかりの若いカトリック信者は徴兵の連絡が届いたが、戦争は正義の為の戦争ではないと思って拒否した為、処刑された。またドイツの元 SS のメンバーで、戦争が終わった後、司祭となって日本に来た人の話だが、彼等が SS に入って訓練を受けた時、外国を侵略したら、その人々を動物とみなして動物扱いするようにと教えられた。その時若いカトリック信者は質問したそうだ。「私はキリスト者だからそんな事は出来ない。」すると若い信者はその場で皆の前で処刑された。その後誰も質問しなくなった。

30 年前に茅ヶ崎教会に居たある日、若い人が相談したい事があると司祭館へ来た。彼は飛行機の部品を作る会社に勤めていた。その部品はミサイルにも使用される可能性があった為、彼が私に聞いたのは、ミサイルの部品を作る事は許されるか許されないか。私は感銘を受けた。その若い人はそこ迄考えていた。

500 年前に日本でキリスト者がひどい迫害を受けたが、ある信者さんは拷問を受けていたが、死ぬ直前に非常に喜んでいたので。すぐに天国に入れる為だった。ある人は賛美歌を歌い乍ら死んだ。その喜びを近くで見ていた信者ではない人々が、信者さんと一緒に死ぬ事にした。私達は神の国の実現の為、苦しんでも良いと思っているだろうか。

マクロビオティックという食生活法を作った桜沢（大沢）さん何十年か前にヨーロッパに行き、キリスト教の教会に生まれて初めて入ったそうだ。そし

て大きな十字架が架かっているのを見て、大きなショックを受けたそうだ。何故こんなものが御聖堂にあるのだろうかと本当にびっくりしたそうだ。

私は幼時洗礼のため、入ったことのない御聖堂に入っても何とも思わない。当たり前となっているので、ある意味で十字架を意識していない桜沢さんは、本当の意味で十字架を見たのだと思う。桜沢さんの初めて十字架を見た時のショック、それは正しいと思う。

イエスはローマ、ユダヤの人達に死刑にされた。日本はまだ死刑制度を持っている一絞首刑。絞首刑にされた人、例えば亡くなった人の大きな写真を見たら私は気持ちが悪い。イエスの十字架も同じ様なものだと思う。私にはあまりにも当たり前で、慣れ過ぎていて気がつかないが本当はそういうものなのだ。

私達はミサに預かる。毎週日曜日に教会に行く時に、私達はイエスのそういう死を告知らせている、非常にショッキングである、恥ずかしい事を私達は他の人たちに告知らせているのだ。

テレビで、刑務所から出所した人達の色々な問題や悩みを取り上げた番組を見たことがある。その中の一人の話を知っている。その人は泥棒をして8ヶ月間だけ刑務所に入っていたが、刑期を終えて出てきて所持金が4000円位しかなかった。公衆電話で自分の家に電話して、家に帰って良いかどうか聞いたところ、断られてその人はホームレスになったそうだ。その家族の気持ちが分かりますか？

私の言いたいのは、イエスの死刑、もしくは亡くなったこと、殺されたことというのは、この8ヶ月だけ刑務所に入っていた人よりも、もっともっと何千倍も恥ずかしい事だったと思う。皆さんは分かるでしょうか？例えばイエスが私達の兄弟の一人だったら、そのように絞首刑されたとしたら？私達は恥ずかしいと思うだろう。

オウム真理教の麻原は、元々は熊本の八代に住んでいて、麻原の兄弟も八代に住んでいた。しかし麻原が刑務所に入ったらその兄弟は引っ越ししたそうだ。そこに居られなくなって。そういう事だ。言い換えると、イエスは犯罪

人として死刑にされた。本当にショッキングな恥ずかしい話だと思っていな
いとしたり理解していないと思う。

しかしこのイエスの死は私達、キリスト者にとっては最高の啓示となってい
る！

カトリック社会の中に間違っている神学がある。それは、「最初の人間は神
様に対して罪を犯した。その罰として、天国に入国できなくなった。人間だ
から神様に賠償できなかったが、人間の代わりに賠償するため神様はイエス
を遣わして死んでもらった。それで、人間はイエスの死によって賠償され救
われた。」というものだ。

しかし、神様が自分の愛する子が苦しみを受けて死ぬ事を望んだという事を
聞いて、ある人々は神様を信用、信頼できないと思う事がある。本当の愛す
る神様、愛である神様は人が、特に自分の子供が、死んで欲しいと思うはず
がないという考えだ。これは正しい。

神様は愛であり、愛を教えるため、愛の具体的な形を見せるためにイエスを
遣わして下さったのだ。しかし私たちはイエスを受け入れなくて処刑にした。
こういう意味でイエスは私たちの罪のために死んだ。そこまでイエスは私た
ちを愛して下さった。だから「[主の死を告げ知らせるのだ。](#)」十字架はキ
リスト教の象徴だ。

エクササイズ